

## 住生活向上推進プラン2025について

### 基本的な考え方

協会の「行動憲章」と住宅部会の「行動ビジョン」に基づき、新たに「住生活基本計画」の追加目標と新規成果指標や、国が掲げる「2050年カーボンニュートラル」への対応を考慮して、住宅部会の新たな5ヵ年計画（2021年～2025年）を策定した

### 具体的実施策改定のポイント

- 1 住宅部会として、分かり易く目標発信と更なる推進を図るため、環境行動計画「エコアクション」の目標管理指標と「住生活向上推進プラン」の一本化  
※「エコアクション」における理念、行動指針、活動方針については、再整理をして長期的に目指すべき方向性を示した「環境ビジョン」として制定した
- 2 住宅部会での災害対応体制を強化するために、「大規模災害対応WG」を設置
- 3 人材育成の推進強化
  - ①リフォーム人材育成の強化のために、プレハブ住宅リフォームコーディネーター講習の推進強化
  - ②優秀なプレハブ建築における大工技能者の育成のために、講習の推進強化
- 4 新しい住まい方やDX推進を図るため、会員各社の取組事例や推進状況の情報共有を実施

# 住生活向上 推進プラン

# 2025

2021年10月



..... 住生活向上推進プラン2025 .....

継続 新規等

「施策展開の方向性」	具体的実施策	成果管理指標 ※【 】は2025年目標値
I 安全・安心の更なる確保と、先導的技術・性能向上への取り組み	1 先導的住宅・技術開発を進め、その普及促進に努める	<ul style="list-style-type: none"> <li>①法改正や住宅政策等に対する国への提言・要望活動を行う</li> <li>②行政や外部関係団体と連携した先導的技術の調査・検討を行う</li> <li>③先導的技術開発の取り組みを行う</li> </ul>
	2 各種性能評価指標を積極的に活用し、工業化住宅の更なる性能向上を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>①住宅性能表示制度の普及促進を行う</li> <li>②省エネに係る制度（省エネラベル、低炭素住宅等）の普及促進を行う</li> </ul>
	3 大規模災害時に迅速に支援できる体制を構築する	<ul style="list-style-type: none"> <li>①大規模災害対応WGを設置し、各種課題を検討する</li> </ul>
II 良質な住宅ストック社会の構築	1 良質な新築住宅を供給する	<ul style="list-style-type: none"> <li>①「住まい実態アンケート」の新設と定期実施</li> <li>②プレハブ住宅供給業務管理規準のレベルアップを図る</li> <li>③長期優良住宅認定の普及促進を行う</li> </ul>
	2 適切な維持管理を実施する	<ul style="list-style-type: none"> <li>①住宅履歴情報の管理と活用推進</li> <li>②既存住宅の維持管理のレベルアップを図る</li> <li>③定期点検のレベルアップを図る</li> </ul>
	3 リフォーム等により既存住宅の質を維持・向上させる	<ul style="list-style-type: none"> <li>①プレハブ住宅リフォームコーディネート講習（PRC）の推進</li> <li>②脱炭素やレジリエンス等に向けてのリフォームの推進</li> <li>③供給業務管理規準（リフォーム編）のレベルアップ</li> <li>④新しい住生活様式へのリフォーム対応調査の実施</li> <li>⑤リフォーム実績の把握</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>①「住まい実態アンケート」の新設と定期実施</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>②プレハブ住宅供給業務管理規準のレベルアップを図る</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>③長期優良住宅認定の普及促進を行う</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>①住宅履歴情報の管理と活用推進</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>②既存住宅の維持管理のレベルアップを図る</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>③定期点検のレベルアップを図る</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>①プレハブ住宅リフォームコーディネート講習（PRC）の推進</li> </ul>	
III 社会や時代の要請に応じた、新たな取り組みや新技術の開拓	1 「新たな日常」やDXの推進等に対応した新しい住まいの実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>①多地域居住等の新しい住まい方の普及促進</li> <li>②DX推進計画の会員各社の取組事例や推進状況の情報収集</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>①ホームページ等での取組事例の紹介</li> <li>②DX推進内容等、情報共有実施</li> </ul>

「施策展開の方向性」	具体的実施策	成果管理指標 ※【 】は2025年目標値
IV 住宅・街づくりにおける環境配慮を通じて、住生活の向上に貢献	1 「脱炭素社会」の実現に向けた取り組みを加速する	<ul style="list-style-type: none"> <li>①新築戸建住宅の脱炭素化を先導する</li> <li>②新築低層集合住宅の脱炭素化を先導する</li> <li>③住宅ストックの脱炭素化を推進する</li> <li>④工場生産・輸送・施工段階の脱炭素化を推進する</li> <li>⑤調達先と協働しサプライチェーンにおけるCO2排出量の削減を進める</li> </ul>
	2 「循環型社会」「自然共生社会」の実現に向けた取り組みを推進する	<ul style="list-style-type: none"> <li>①廃棄物の3R活動を継続し、リサイクルの質の向上に取り組む</li> <li>②有害物質の削減を図るとともに、持続可能な木材利用、生物多様性保全活動を推進する</li> </ul>
	3 環境の取り組みについて、ステークホルダーとのコミュニケーションを図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ステークホルダー向けの情報発信や対話を推進する</li> </ul>
V 国際的な住宅・住環境向上に貢献	1 プレハブ建築協会の活動を海外に向けて発信する	<ul style="list-style-type: none"> <li>①住宅部会英語版ホームページの充実を図る</li> </ul>
	2 会員各社の海外での活動情報を共有する	<ul style="list-style-type: none"> <li>①会員各社の海外での活動情報の充実</li> </ul>
VI 人材の育成と情報発信の充実	1 プレハブ建築マイスター認定制度を通じて、優秀な大工技能者を育成し、必要な施工能力の確保に貢献する	<ul style="list-style-type: none"> <li>①プレハブ建築マイスター制度の認知度向上（ホームページへの掲載等）</li> <li>②大工技能者への認定取得メリット周知と取得状況の把握（建設キャリアアップシステムのレベル3要件等）</li> <li>③職長・安全衛生責任者教育の受講推進</li> </ul>
	2 各種研修・講習会、シンポジウムを通じて会員のスキルアップを図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ゼミナール、シンポジウム、講習会等の開催</li> </ul>
	3 ホームページや各種会合等を通じた情報発信により、各ステークホルダーとのコミュニケーションを強化する	<ul style="list-style-type: none"> <li>①住宅部会ホームページの充実を図る</li> <li>②メディアに向け積極的な情報発信を行う</li> </ul>